

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和8年5月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆880億円(伸率: +28.0%) ⇒ 2か月連続のプラス

・順位:14位、5月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(569か月、5月は48か月)による。以下同じ。】

・増加品目:半導体等電子部品(同+82.8%)、自動車(同+22.8%)

○輸入総額:7,482億円(伸率:▲2.5%) ⇒ 3か月連続のマイナス

・順位:69位、5月としては6位

・減少品目:原粗油(同▲83.2%)、液化天然ガス(同▲51.2%)

○差引額:3,398億円(伸率:4.1倍) ⇒ 16か月連続の輸出超過

・順位:4位、5月としては1位

為替レート:2026年5月:158.29円/ドル(2025年5月:143.97円/ドルと比べ10.0%の円安)

<品目別動向>

○輸出

半導体等電子部品(757億円→1,384億円、伸率: +82.8%)は、香港(305億円→598億円、同+95.9%)及びベトナム(54億円→262億円、同4.9倍)向けが増加し、11か月連続のプラスとなった。

また、自動車(2,180億円→2,676億円、同+22.8%)は、アメリカ(403億円→780億円、同+93.5%)及び中国(541億円→698億円、同+29.1%)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

一方、有機化合物(353億円→269億円、同▲23.8%)は、中国(150億円→80億円、同▲46.9%)及び韓国(56億円→39億円、同▲31.0%)向けが減少し、7か月連続のマイナスとなった。

○輸入

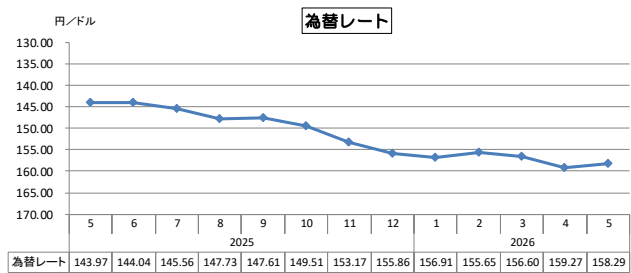
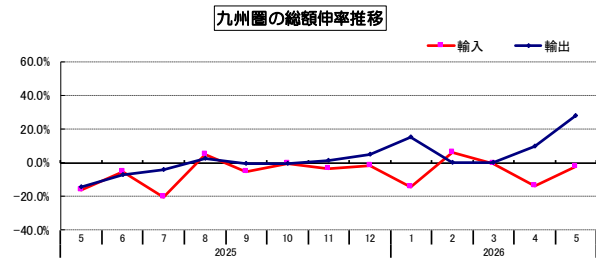
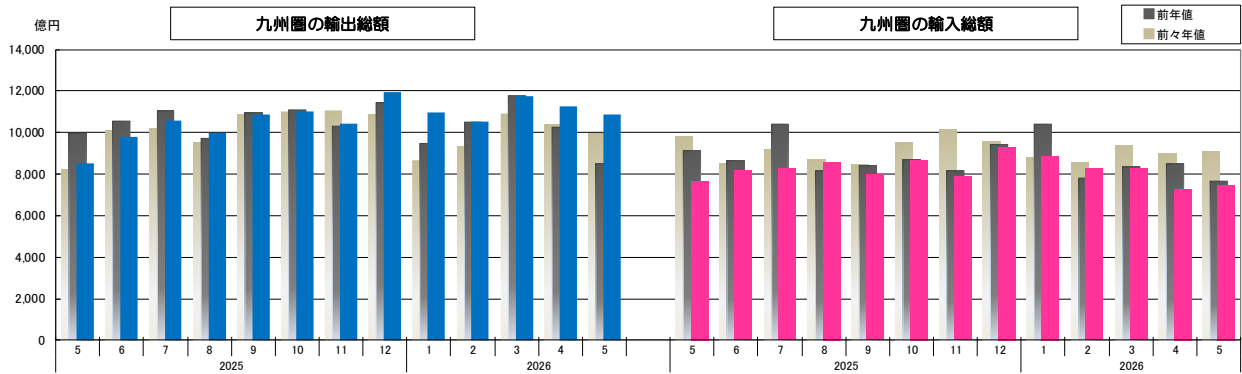
原粗油(222万KL→27万KL、伸率:▲87.8%、1,520億円→255億円、同▲83.2%)は、アラブ首長国連邦(136万KL→27万KL、同▲80.1%、932億円→255億円、同▲72.7%)及びサウジアラビア(62万KL→実績なし、421億円→実績なし)からが減少し、6か月連続のマイナスとなった。

また、液化天然ガス(26万MT→15万MT、同▲45.0%、230億円→112億円、同▲51.2%)は、インドネシア(11万MT→実績なし、92億円→実績なし)及びオーストラリア(7万MT→2万MT、同▲63.4%、60億円→22億円、同▲63.5%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

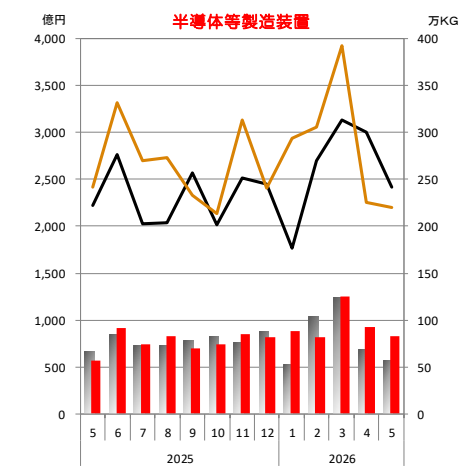
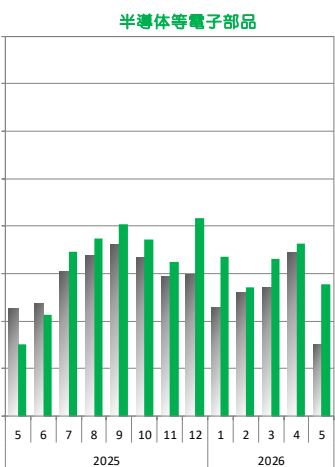
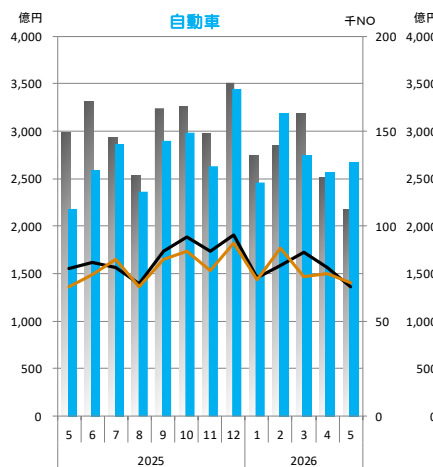
一方、金属鋳及びびくず(798億円→1,303億円、同+63.4%)は、銅鋳(432億円→858億円、同+98.8%)が増加し、5か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

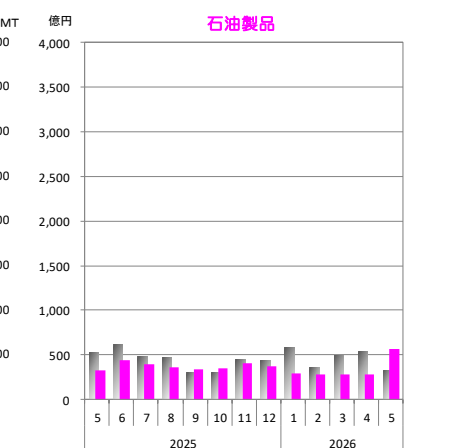
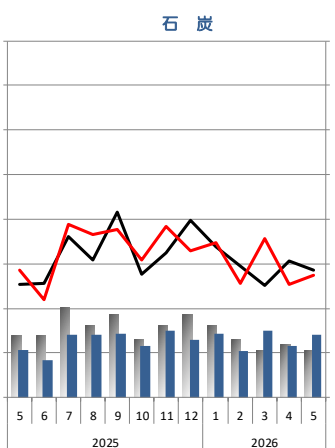
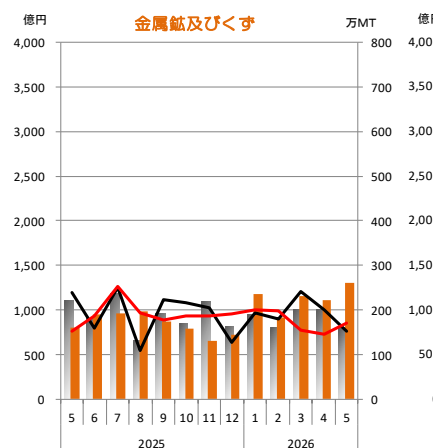
令和8年5月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。